

宮大工の美学

テレビのバラエティ番組やCMへの出演で、その名を知る人も少なくないだろう。

日乃出町に事務所を構える生形工務店は、

1945(昭和20)年に創業し、社寺や一般住宅の建築を手がけている。同社の三代目棟梁の生形雄一さんに、宮大工としてのこだわりなどを聞いた。

古い社寺の屋根に惹かれて 今の建築に取り入れる

「自分の思う美しいお寺とは、正面から見た時に屋根全体が優美に反り上がっているのです」

手掛けている現場を案内しながら話すのは、生形工務店の三代目棟梁であり、宮大工として29年のキャリアをもつ生形雄一さんだ。宮大工とは、神社や寺の建築を手掛けた大工を指す。生形さんは大学の法学部を卒業後、二代目棟梁の父英雄さんのあとで修業すると同時に、各地の社寺を見学し

解体した建築物から 馳せる昔の人への思い

社寺の改修や改築を請け負う時、面白いのは古い工法を見られることだと生形さん。300年前に造られた、ある寺の屋根を改築した時は、使える材木を生かしたいとの意向があつたため、職人たちと一緒に手作業で解体していった。

「そうしたら屋根を支える四隅の組み方が、全部違ったんですよ。もしかしたら腕の良い4人の職人に同時に造らせて競わせたのかかもしれないですね」と、嬉

同社が改築を手がけた西蔵寺(深谷市)。屋根の曲線が、建物中央から緩やかに始まっているのがわかる。屋根の四隅が反り返っており、全体のバランスを取るのが難しい

3代目棟梁 生形 雄一さん
生形工務店 二代目棟梁 生形 英雄さん



同社が改築を手がけた西蔵寺(深谷市)。屋根の曲線が、建物中央から緩やかに始まっているのがわかる。屋根の四隅が反り返っており、全体のバランスを取るのが難しい



見上げた時に木が格子状に組まれた格子天井(ごうてんじょう)の、ワランク上の折上格天井(おりあげてんじょう)。木をカーブの形に切り出して磨き、接合部はノミで切り落として釘を使わずに組んである



上様式に行う、破魔矢の儀。屋根の上から本物の弓で地上の的を狙う。古い儀式で、今では国内でも同社でしか行われていない。高校時代に弓道部でインターハイに出場した経験が今の生形さんに生きる



子どもたちに向けて、宮大工の仕事を話す生形さん。体验し考えさせる授業は、子どもたちだけでなく先生方も人気がある

Information
株式会社 生形工務店
伊勢崎市日乃出町643-9 TEL. 0270-25-8102

文/小林美佐子 写真/篠原亨 写真提供/生形工務店 デザイン/伊藤剛志

しそうに話す。

別の寺では、深谷市指定文化財の本堂の改修工事にも携わって、いた。経年劣化した瓦や使われていた大量の土を取り除く。下地の板を張り直し、新しい瓦をふいて終わるところだが、調査してみると屋根の歪みがひどかった。

屋根を支えている材木は昔の工法のため、支柱にしっかりとまつっている。それも直しながらの作業は大変だったが、「今と変わらない組み方だな」「大きな柱をどうやって上に運んだのだろう」という。「皮のついたままの木を使っているのは資材が乏しかったのだろうか」など、案内をしながら過去に思いを馳せていた。

この時は屋根裏に、長年吹き込んだ砂埃や土、鳥の巣などが積もっていたのを等とちりとりで全部取り除いていたところだった。

たり文献にあたったりと勉強を重ねてきた。そのうちに、京都や奈良の社寺建築の美しさを再認識。古くから神社仏閣が数多く建てられ、競い合い、洗練されていった関西風の建築の、特に屋根の形に惹かれたのだ。

生形さんは、「自分で建てるなら建築物として眺めて見栄えの良いものを造りたいと思いまして」と振り返る。古い建築物の良さを生かしながら、現代のモダンなデザインを取り入れるというのが、生形さんの宮大工としてのテーマだ。

生形さんの造る屋根は端だけ

しそうに話す。

ゴミ袋3つ分にもなった。

「本当はそこまでしなくてもいいのですが、神様や仏様のためにを考えながら仕事をしているんです」と生形さん。優美な物を造るために、見えない裏側も整え

るという心構えが垣間見えた。

砂埃は全部で1立方メートルのゴミ袋3つ分にもなった。

「本当にここまでしなくてもいいのですが、神様や仏様のためにを考えながら仕事をしているん

です」と生形さん。優美な物を造るために、見えない裏側も整え

り、太く長い木材を肩に担いで登場。これから何が始まらんだろうと、子どもたちの目は釘付けだ。この木材はその後、生形さんが持参したノコギリやカンナで、子どもたちが切つたり削つたりを体験する。

授業に入ると、「どうしてカンナをかけると思う?」と子どもたちに考えさせ、答えさせる。スラ

イドで寺を建てる様子を見せながら、朝食をしつかり食べないと力が出ない、夜遅くまでゲームをして寝不足になるなどがの原因になる。「早寝・早起き・朝ごはん」

富大工をしていて一番嬉しいことは、それを尋ねると、「自分の造ったものが何百年後にも残ることで」ときっぱり。そして、「神社を建て替えた時に、翌年の初詣の参拝客が増えたと聞くのも嬉しいですね」と添えた。

人前に立つ場面も多いが、生形さんを支えるのは、宮大工という仕事に対する矜持。見て美しく、日本の景観にふさわしい建築物をこれからも追求していく。

細かい指示を出す必要がある。綿密な段取りと的確な現場捌きのできる司令塔で、いなくてはならないのだ。時には発注元に工法の説明や疑問点の回答をしたりする。職人には、腕は立つが口下手という人も少なくない。図面も描け、宮大工の作業をよく知り、

授業に入ると、「どうしてカンナをかけると思う?」と子どもたちに考えさせ、答えさせる。スラ

イドで寺を建てる様子を見せながら、朝食をしつかり食べないと力が出ない、夜遅くまでゲームをして寝不足になるなどがの原因になる。「早寝・早起き・朝ごはん」

富大工をしていて一番嬉しいことは、それを尋ねると、「自分の造ったものが何百年後にも残ることで」ときっぱり。そして、「神社を建て替えた時に、翌年の初詣の参拝客が増えたと聞くのも嬉しいですね」と添えた。

人前に立つ場面も多いが、生形さんを支えるのは、宮大工という仕事に対する矜持。見て美しく、日本の景観にふさわしい建築物をこれからも追求していく。

細かい指示を出す必要がある。綿

密な段取りと的確な現場捌きのできる司令塔で、いなくてはならないのだ。時には発注元に工法の説明や疑問点の回答をしたりする。職人には、腕は立つが口下手とい

う。

細かい指示を出す必要がある。綿

密な段取りと的確な現場捌きのできる司令塔で、いなくてはなら

ないのだ。時には発注元に工法

の説明や疑問点の回答をしたり

する。職人には、腕は立つが口下

手とい

う。

細かい指示を出す必要がある。綿

密な段取りと的確な現場捌きのできる司令塔で、いなくてはなら

ないのだ。時には発注元に工法

の説明や疑問点の回答をしたり

する。職人には、腕は立つが口下